

さわらしんきん
地域密着型金融推進計画
(平成19年～20年度)

平成19年11月

佐原信用金庫

1	取組み方針	1
2	態勢の整備	1
	(1)経営力強化への取組み	1
	(2)地域社会のニーズの把握	1
	(3)人材の育成	1
	(4)外部機関との連携等のネットワークの構築と活用	1
	(5)適切な情報開示	2
3	具体的取組み	2
	(1)ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	2
	(2)事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した基金供給手法の徹底	3
	(3)地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	3
4	平成19年度 数値目標	5

1. 取組み方針

当金庫は、中小企業ならびに地域住民のための会員制度による協同組織金融機関として地域密着を基本とし、会員や利用者・地域のニーズに応えることを経営の基本としています。

平成15年4月以降の4年間に亘るアクションプログラムで地域密着型金融を推進してきましたが、取組みが充分でなかった項目もあり、引続き取り組んできた施策を着実に実行し、導入した制度・仕組みを機能させていくことが必要であると考えています。

今後の地域密着型金融の取組みに関しては、改めて対応するというスタンスではなく、地域密着型金融への取組みこそが当金庫の存在意義であるという認識のもと、従来からの取組みをベースとして、地域社会のニーズを把握しながらより多くのお客様に当金庫の金融サービスを積極的に提供することによって、地域社会の発展に寄与すべく一層強化する方向で継続的に取り組む方針です。

2. 態勢の整備

金融を通じた地域貢献活動を持続的に進めていくためには、当金庫の経営態勢の整備・強化が前提となります。したがって以下の項目について、継続的に取り組んでまいります。

(1) 経営力強化への取組み

当金庫の健全性を基礎として地域密着型金融を持続的に推進していくために、ガバナンス・リスク管理・コンプライアンス態勢等、経営力の強化に継続的に取り組んでまいります。

(2) 地域社会のニーズの把握

地域密着型金融を機能させていくため、利用者ニーズを的確に把握した上で、経営戦略へのフィードバックを行い、利用者からの評価を業務に適切に反映するための態勢整備を図ってまいります。

(3) 人材の育成

目利き能力の向上をはじめ、地域の利用者ニーズに対応できる人材の育成を進めてまいります。

(4) 外部機関との連携等のネットワークの構築と活用

当金庫だけでは対応できないニーズについても、中央機関等の補完機能

および地方公共団体、商工会議所、中小企業再生支援協議会等との連携・ネットワークを活用し、対応できる体制を構築してまいります。

(5) 適切な情報開示

地域密着型金融に関する取組みについて、利用者が適切に評価できるよう、ホームページ、店頭縦覧を通じ、適切な情報開示を行ってまいります。

3. 具体的取組み

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

創業・新事業支援

事業所数の減少等地域経済が低迷している環境下で、地域経済の活性化を図るためには創業および新事業への支援が重要という認識のもと、引き続き身近な創業や新事業への金融支援に積極的に取り組んでまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・ 営業活動や商工会議所等からの情報収集の強化
- ・ 国民生活金融公庫との連携による創業・新規事業支援の強化
- ・ 創業等関連保証や中小企業新事業活動促進法等の活用

経営改善支援

経営改善支援を必要とする取引事業先に対し、審査部（債権管理室）が営業店と連携して経営改善指導を行ってまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・ 経営改善支援先を選定し、経営改善計画書の策定支援をはじめとする各種支援策を本部・営業店一体となって推進する。
- ・ 経営改善支援の研修による営業店職員のレベルアップ

事業再生支援

事業の再生見通しに合理的な理由が認められる対象先について、外部機関（中小企業再生支援協議会や外部コンサルタント等）の活用等による事業再構築の支援を行ってまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・ 再生支援対象先に対する中小企業再生支援協議会との連携による再生支援
- ・ 外部機関との情報交換などによるノウハウの蓄積、人材の育成

事業承継支援

取引先および新規先の事業承継（後継者対策・事業譲渡等）に係るニーズの把握と支援態勢の整備を図り、外部機関との連携により事業承継支援に取り組んでまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・セミナー、研修会等への参加による事業承継のノウハウ収集と人材の育成
- ・信金キャピタル株の活用、税理士等の専門家との連携による事業承継に向けた支援の実施

（２）事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

事業価値を見極める融資手法

金庫内外の研修・勉強会等を活用し目利き力の育成を図り、与信先の実態把握を重視した審査体制を構築し、事業価値を見極める融資を推進してまいります。また、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資として、スコアリングモデル融資の推進を図るとともに、格付システムの活用による金庫独自のスコアリングモデル融資商品の商品性改善を進めてまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・業界団体主催の講習会への派遣および金庫内で実施する研修・勉強会等による目利き力の育成
- ・目利き力を活かした実態確認を重視する審査体制の構築
- ・事後モニタリング制度の機能強化
- ・スコアリングモデル融資の推進および商品性改善

中小企業に適した資金供給手法の徹底

売掛債権、棚卸資産を活用した流動資産担保融資保証制度および設備担保信用補完制度の活用を図ってまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・流動資産担保融資保証の活用
- ・信金中金の設備担保信用補完制度（しんきんMEサポート）の活用

（３）地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域の面的再生

当金庫の基盤的地区である佐原・香取地区の地域経済振興に寄与するため、中央機関・外部機関との連携・ネットワークの活用により同地区

の主要産業となっている観光・農業の支援を図ってまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・ 外部機関活用による経営セミナー・相談会の開催、若手経営者の育成
- ・ 平成20年度から予定されている『佐原広域交流拠点PFI事業』に対する信金中央金庫の機能活用を検討
- ・ 顧問弁護士を活用した法務相談会の開催
- ・ 地公体との連携による佐原地区の観光振興に寄与する商品の開発
- ・ 農業事業者向けのスコアリングモデル融資の開発
- ・ 農林漁業金融公庫の支援機能および業界システム「しんきんビジネス・マッチングサービス」の活用による農業事業者の販路支援
- ・ 農業経営アドバイザーの育成および経営支援の実施

地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域社会のニーズの把握に努めるとともに、情報提供・相談対応等、付加価値の高いサービスの提供を図ってまいります。

多重債務者問題については、会員や利用者に対して日々の訪問活動等を活用した予防・啓蒙活動の取組み、相談会の開催等、相談機能を強化してまいります。

< 具体的取組施策 >

- ・ 顧客満足度調査の実施によるニーズの把握および業務改善への取組み強化
- ・ 外部機関活用による情報提供機能強化
- ・ 顧問弁護士を活用した法務相談会の開催

4. 平成19年度 数値目標

項目	平成19年度目標	
創業・新事業支援	15先	
経営改善支援	経営改善支援先	22先
	うちランクアップ目標	2先
スコアリングモデル融資	120件	
農業者向け スコアリングモデル融資	100件	
しんきんビジネス・マッチング システム登録	15件	